



いよいよ冬休み

1年の中で最も長い2学期が終わり、いよいよ冬休みに入ります。この2学期、様々な行事を通して生徒たちの成長した姿を見ることができ、西有家中生の良さを再認識した学期でした。

1年を振り返り、自分の行いを反省し、自分を取り巻く環境に感謝をするとともに、新たな年を迎え、希望溢れる1年になるよう決意を新たにするために冬休みがあります。

よく「元旦の初日の出に手を合わせる人は多いが、大晦日の沈みゆく夕日に手を合わせる人が少ない」と言われます。私は、1年を振り返り、感謝をすることこそ次への新たなステップにつながると考えます。

生徒の皆さん、ぜひ、今年の大晦日は、沈みゆく夕日に手を合わせ、次のことに感謝しましょう。

- 1年間無事に過ごすことができたことに。
- 色々お世話してくださった家族や周囲の人たちに。

おめでとう！

2学期後半、生徒たちが頑張った報告が続々とありました。紹介します。

- ◎税の作文：福岡国税局長賞 志岐 彩花
福岡、佐賀、長崎から、1人受賞（最高賞）



<島原税務署長から賞状を受け取る志岐さん>

◎レスリング競技

令和5年度第14回全国中学選抜
U15レスリング選手権大会

優勝 吉田 信太

◎各種新人大会

○バスケットボール競技

第3位(県大会出場)

西有家中・北有馬中

○バレーボール競技

準優勝(県大会出場)

西有家中



<全国優勝の吉田君>

◎JA 習字

JA 西有家支店長賞 志岐彩花

「いじめ防止標語コンテスト」に学級代表で次の作品を応募しました。素晴らしい作品ばかりでした。標語のように相手を思いやりたいです。

○「悪口は、心に残る凶器だよ」

森 月紬 (1-1)

○「心ない、その一言が傷つける」

永田漣人 (1-1)

○「見ないふり、裏であの子が泣いている」

松川湊土 (1-1)

○「その笑顔、本当に笑っているか考えよう」

苑田莉子 (1-2)

(続きは裏面をご覧ください)

<人権集会を行いました。>



<真剣に話を聞く生徒とお礼の言葉を言う生徒たち>

「行為の意味」宮澤章二

「思い」は見えないけれど思いやりは誰でも見える
「心」は見えないけれど心配りは誰でも見える。

あたたかい心が暖かい行為になり、優しい思いが優しい行為になるとき、心も思いも初めて美しく生きる

生徒会会長・副会長決定!

去る12月7日に来年度のリーダーを決める生徒会役員選挙が行われ、次年度の会長副会長が決定し、本日、任命を行いました。選挙公約を実現し、素晴らしい西有家中に導いてくれることを、心から願っています。

会長：宮崎和花さん(2-2)

副会長：本村來生さん(2-1)

// : 林田煌成さん(1-1)

今後の主な予定!

- 22日(金) 終業式
- 23日(土) ~冬季休業
- 23日(土) 南島原市イングリッシュ・パフォーマンス・コンテスト(カムス)
(加藤清史郎さんと池田香穂さん出場)
- 令和6年1月
9日(火) 3学期始業式
- 10日(水) 標準学力テスト(1・2年生)
生徒会役員引継ぎ式
- 16日(火) 生徒集会
- 25日(木) 特別支援学校居住地交流

~いじめ防止標語コンテスト応募作品~(続き)

○「助けよう、見ていただけじゃ変わらない」

山下勇弥(1-2)

○「考えよう、自分がされていやなこと」

森崎由梨乃(1-2)

○「何よりも学ぶべきものは人間性」

中嶋徹翔(2-1)

○「たくさんの笑顔でひとつ花開く」

宮崎釉梨奈(2-1)

○「明日はねみんなの笑顔が連れてくる」

永吉璃恩(2-1)

○「怖くても動いてみようあなたは一人じゃない」

宮崎和花(2-2)

○「なりたいたい互いを想う素敵な友達」

植木透和(2-2)

○「気づいてる!それは全部いじめだよ」

近藤桜絢(2-2)

○「ヤバイよね、この言葉は危険かも」

谷口洸太(3-1)

○「その言葉、あなたは責任取れますか」

安達沙耶(3-1)

○「勘違い、そこから始まるいじめの世界」

安達裕太(3-1)

○「考えよう、あなたがかけたその言葉」

江越結衣(3-2)

○「変えていこう、いじめのない優しい世界」

原田夏希(3-2)

○「いじめの場、止めないあなたも共犯者」

城谷怜生(3-2)



自分の考えや人の受け売りです。

気軽にお読みください

『笑いの効用』

笑うことは非常に体にいいということだ。笑いは不快さへの耐久力を高めるといふ。10回笑うのは十分間ボートを漕ぐのに等しいと言われる。中国には昔から「一笑一若、一怒一老」という言葉がある。一回笑うと一つ若返り、一度怒ると一つ年を取る、というのだ。それくらい笑いの効用は大きいという。ガン患者に落語を聴かせて、直後に免疫力を測定したら、みんなアップしていたという研究報告もある。

ストレス学説を創始したカナダの生理学者、H・セリエ博士も笑いの重要性を強調した人だ。彼の有名な言葉に「悲しいから泣くのではない。泣くから悲しいのだ」というのがある。笑いもまったく同じだろう。「おかしいから笑うのではない。笑うからおかしくなるのだ」...と。案外これは人生の極意かも知れない。